



News Letter



VOL.15
2021年11月号



2021年度

女性およびライフイベント（育児）中の研究者支援の取り組み

2021年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ研究助成金 採択者

(募集期間: 2021/5/6~2021/6/7)

氏名	所属	研究課題名	助成金額
有戸 光美 講師	生化学	ライリンに焦点を当てた上皮間葉移行の分子基盤の解明 ～がんの治療標的候補として～	50万円
大神田 敬 助教	微生物学	多剤耐性菌感染モデルとしての線虫の有用性	50万円

2021年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ表彰(学術分野) 受賞者

(募集期間: 2021/7/1~2021/8/10)

氏名	所属	掲載雑誌	論文表題
永渕 裕子 講師	内科学(リウマチ・ 膠原病・アレルギー 内科)	Modern Rheumatology 2021;31:1087-1093	Rheumatoid arthritis relapse in patients with other iatrogenic immunodeficiency-associated lymphoproliferative disorders and its treatment.
今泉 太一 助教	小児科学	Human Genetics 2020;139:1555-1563	Complex chromosomal rearrangements of human chromosome 21 in a patient manifesting clinical features partially overlapped with that of Down syndrome.

※応募資格

- 1:女性の講師または助教(非常勤講師除く)
 - 2:講師または助教で、ライフイベント(育児)中*であること(男女とも可、非常勤講師を除く)
- *小学校3年生までのお子さんをお持ちの方

2018年度より、女性およびライフイベント中(小学校3年生までのお子さんの子育て中)の研究者に対して、以下の研究・論文作成支援と研究マインド向上の取り組みを行っています。

- ①ダイバーシティ研究助成金(1件当たり50万円上限)
- ②ダイバーシティ英語論文作成費助成制度(1論文あたり5万円上限)
- ③ダイバーシティ表彰(学術分野)〔賞状と副賞(5万円)授与〕

本年度の①の採択者、③の受賞者は上記のとおりとなります。皆様、おめでとうございます。なお、②については現在も受付をしております。

いずれの制度も、女性だけではなく子育てをしている男性も支援及び表彰の対象としていることが特徴です。これらの制度が、本学教職員における医師、研究者としてのキャリアアップの一助となることを期待しております。

ダイバーシティ:性別やライフスタイル等に関わり無く、多様な個性が力を発揮することにより、組織として最大限の能力を発揮しようという考え方。

2021年度ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式 2021年10月20日(水)

2021年10月20日、病院別館8階臨床講堂にて、授賞式が執り行われました。センター長の北川学長より、2021年度ダイバーシティ表彰(学術分野)受賞者である永瀨講師、今泉助教へ表彰状と副賞(5万円)が授与され、その後に受賞者2名よりご挨拶をいただきました。受賞者の皆様、おめでとうございます。今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。



永瀨講師

今泉助教



後列: 左からリウマチ・膠原病・アレルギー内科 川畑教授、同 永瀨講師、小児科 今泉助教、同 清水教授
前列: 左から 高田女性医師研究者支援部会長、加藤医学部長、北川学長、明石副センター長



令和3年度 女性医師支援・ ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議 2021年9月11日(土)

2021年9月11日、オンラインで日本医師会主催、令和3年度 女性医師支援・ドクターバンク連携関東甲信越・東京ブロック会議が開催され、予防医学 高田礼子教授(女性医師・研究者支援部会長)、解剖学 池森敦子教授(勤務体制検討部会長)が出席されました。

今回の会議は、初めに医師会から、「日本医師会女性医師バンク」について、次に各都県医師会から報告を行い、その後、出席者間で意見交換を行いました。

神奈川県医師会からは、「県医師会における復職・再就職支援体制」、「女性医師のキャリアアップ支援体制」について、池森教授が報告をされ、その中で、男女共同参画キャリア支援センターが行っている活動として、

- ・本学の勤務体制制度
 - ・ダイバーシティ推進の啓発
 - ・女性研究者への視野拡大(キャリア教育・相談会の実施・医師と学生の交流会等)
 - ・研究支援(ダイバーシティ研究助成金・ダイバーシティ英語論文作成費助成制度、ダイバーシティ表彰(学術分野))
 - ・ライフイベント支援(院内保育園、ベビーシッター割引制度、育児・介護に関する講演会等)
- について触れ、女性医師支援の本学の取り組みを紹介していただきました。

2021年度学術集会講演

医学会第80回学術集会が2021年10月28日(木)～11月11日(木)の期間オンライン形式で行なわれ、今回は高橋執行役員(保育・介護支援部会長)と2020年度ダイバーシティ研究助成金採択者の3名が講演をされました。

●特別講演●

高橋 恵執行役員 男女共同参画キャリア支援センター運営委員会 保育・介護支援部会長/ナースサポートセンター長
「聖マリアンナ医科大学保育支援体制について」

●ダイバーシティ研究助成金採択者講演●

長田 洋資助教 小児科学
「エアロゾル拡散の観点からみた高流量鼻カニュラ酸素療法・非侵襲的人工呼吸療法の安全性にかかわる研究」
塚原 千広助教 眼科学
「TNF誘発視神経障害モデルにおけるNFATc阻害剤の軸索保護効果」
久慈 志保講師 産婦人科学
「子宮頸部神経内分泌腫瘍におけるInsulinoma-associated protein 1(INSM1)の発現と免疫組織化学染色への実用化」

*ダイバーシティ研究助成金採択者の方には、翌年度に研究成果を医学会学術集会にて発表を行っていただいております。

●男女共同参画キャリア支援センター●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp

医学部キャリア教育 2020年12月12日(土)

2020年12月12日(土)1限から3限の医学部第2学年「実践医学」の授業で「卒前キャリア教育」を開講しました。昨年同様、全国の医学部卒前教育で男女共同参画に関する講義・ワークを実践されている、蓮沼直子先生(広島大学大学院医系科学研究科 医学教育学教授)にご依頼し、新型コロナウイルス感染症対策のため、今回初めて対面ではなくZoomを利用したオンライン形式で行いました。

明石副センター長に基調講演として「Work Life Balance」講演をいただいた後、蓮沼先生の司会・進行により、「子供の朝の発熱」「女性外科医の海外留学」の2つシナリオについて、14グループに分かれて討論と発表を行いました。学生は普段から講義においてオンラインでの討論には慣れており、活発に議論をしていました。

ロールモデル講演は、本学の卒業生である平川経晃講師(血液・腫瘍内科)より、「子育て男性医師のキャリア」として、夫婦ともに医師として働いてきたこれまでの経験をお話くださり、学生に対して、「明日を見つめて今をひたすらに邁進すること」や、「違いを認め合って思いやりの心を持ち、家庭を大切にすること」を忘れないようにというメッセージもいただきました。

蓮沼先生によるキャリア教育の総括の後、明石副センター長にご挨拶いただいて終了しました。

出席者からのアンケート結果では、内容について「かなり満足・満足」が72%、興味について「極めて適当・適当」が69%との回答が得られました。「同じ医師でも多様なキャリアがあり、自分の目的に合ったキャリア計画を立てることが重要」など、これまで漠然としていた卒業後のキャリアを考える有意義な機会であるとともに、「性別に関係なくキャリアを形成できるような環境の重要性」も認識できたことが窺えました。

キャリアを形成するためには？



親である以上、やる事は同じ。どちらかだけが面倒をみれば良いわけではない。家事をすれば良いわけではない。
→夫婦間での認め合いと協力。

- お互いが医師として働く事ができる。
- 現場のマンパワーが増え、多くの仕事をこなせる様になる。

家庭人でもある事が、子育て医師のキャリア形成に繋がる。

令和2年度第2学年実践医学 キャリア教育

令和2年12月12日(土)1~3限

外部講師：広島大学医学部附属医学教育センター 蓮沼直子 教授

時間	内容	講師
8:50~	説明	高田教授
9:00~	はじめに	伊野教授
	Work Life Balance講演「洗面所の使い方」	明石教授
9:25~	外部講師紹介およびグループワーク説明 グループワーク(14グループ) 40分	蓮沼教授
10:05~	休憩 10分	
10:15~	先輩医師の体験談 15分	平川講師
10:30~	グループ発表 および 全体討論 40分	蓮沼教授
11:10~	休憩 5分	
11:15~	まとめ、キャリア年表作成等 35分	蓮沼教授
11:50	終了	

大学院キャリア教育 2020年12月12日(土)

大学院総合教育科目Ⅲの講義では、鈴木(黒川)真奈絵指導教授(女性医師・研究者支援部会員)が「研究者としての生涯構想」を担当しております。2020年度は12月12日(土)にオンライン形式で行なわれました。

講義では、医師のキャリア形成のタイムコースとその中の大学院の位置づけについて、医師が研究に携わる利点、どのようにして生涯研究を続けていくか等についてお話があった後、医師歴20~30年で実際に研究を継続しているロールモデルが数例紹介されました。

その後、各大学院生より、1. 大学院卒業後、どんな研究をしたいか、2. 研究のため留学する場合、どこかの大学・研究機関に留学し、2) どんな研究をしたいか、3. 留学後、生涯に渡り、1) どのようなスタイルで、2) どんな研究をしていきたいか、について、レポートによる報告がされました。大学院生の皆さんは、各自の希望・方向性を元に明確な計画を打ち出しており、聖マリアンナ医科大学大学院から若い研究者が次々と巣立っていくのが非常に楽しみとなっております。

医学部キャリア教育 2020年12月15日(火)

医学部4年生の臨床実習オリエンテーションにおいて、血液・腫瘍内科 新井文子教授(就職・再教育支援部会長)より、「医師のキャリアについて」というタイトルで、ロールモデル講演が行われました。

先生のご専門である慢性活動性EBV感染症(CAEBV)について、最初に診療した患者との約束を果たすべく、病態機序の解明、早期診断法や移植以外の治療法の確立のため、取り組まれてきた研究を紹介いただきました。

また、医師として約10年後に自身の専門領域や今後のキャリアについて熟慮する時期が到来することから、問題を抽出し解決できる医師を目指すこと、他人のやっていないことに取り組むフロントランナーになること、自分の可能性を信じて伸ばすことをお話くださり、学生にプロフェッショナルとして活躍してほしいというエールが込められたとても素晴らしい講演でした。



●男女共同参画キャリア支援センター●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp

創立50周年記念講演～シリーズ「ダイバーシティ」～ 〔共催講演〕 2021年11月15日(月)～11月30日(火)

日時:2021年11月15日(月)～30日(火)オンデマンド配信

基礎講演 「SDGsの基礎知識」 講師:田村 尚子講師

〈第1部〉基調講演 「新型コロナウイルスが提起したSDGsの新たな課題」

講師:中村 安秀先生 (日本WHO協会理事長・世界小児科学会(IPA)常任委員・国際ボランティア学会会長)

〈第2部〉パネルディスカッション 「SDGs時代 大学はどう取り組むか」

座長:松田 隆秀特任教授

中村 安秀先生・三宅 良彦副理事長・北川 博昭学長・伊野 美幸総合教育センター長

主催:総合教育センター、医学会、医学情報センター

共催:医学部FD委員会・大学院・看護専門学校・臨床研修センター・男女共同参画キャリア支援センター・

職員教育研修委員会・学年担当委員会・学生相談室

保育・介護支援ガイド ～紹介動画配信します～

保育・介護支援部会では「保育・介護支援ガイド」を作成しています。こちらには、出産～育児・介護に関し利用できる制度や保育園情報・ベビーシッター費用補助などを掲載おり、これから出産を迎える方、現在育児中・介護中の方には是非ご覧いただきたい思います。

各所属や、産休に入る方へ配布をしていますが、男女共同参画キャリア支援センターにも在庫がございますので、ご覧になりたい方はお声掛けください。今後、ガイドの紹介動画配信を予定しておりますので是非ご覧いただき、アンケートにご協力をお願いします。

保育・介護お悩み相談会

昨年に続き、今年度も保育・介護に関する個別相談会を9月から10月にかけて期間を設け開催しました。

今年に限らず、やはり育児と仕事の両立に不安を抱えている方が多いと感じます。相談会期間は終了しましたが、男女共同参画キャリア支援センターではいつでもご相談に応じますので育児・介護に関してお悩みがありましたら、センターまでお気軽にご連絡ください。

保育・介護お悩み相談会

相談日時: 9月1日～10月29日
11:30～13:00

(お1人30分程度・日時はご相談に応じます)

場 所: 菅生キャンパス内

(オンライン相談可・申込受付後にご連絡します。)

申込方法: 予約制(お1人30分程度)

下記HPより用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、8月25日(水)までにご提出下さい。(メール又は4階ポスト・締切後も対応いたしますのでご相談ください。)
Google Meetを使用したオンライン相談も予定しておりますので、会場にお越しいただけなくても相談可能です。保育や介護について、看護師、ソーシャルワーカー、人事課職員、他経験者が皆様のお話を伺います。また、様々な情報を得られる機会ですので、是非ご参加ください。

お申込み・お問合せ先
聖マリアンナ医科大学
男女共同参画キャリア支援センター 保育・介護支援部会
HP http://www.marianna-u.ac.jp/career/support/hoiku3_04.html
内線5814 career@marianna-u.ac.jp

ベビーシッター費用補助

聖マリアンナ医科大学では、教職員の「仕事」と「家庭・子育て」の両立支援のため、ベビーシッター費用の一部補助制度として割引券を発行しています。現在は新型コロナウイルス感染症対策の為、小学校・保育園等が休校・休園等になり放課後児童クラブ等も利用できず就労が困難となった場合に、特例措置*として通常より多く割引を受けることも可能です。

*2021年11月現在。利用条件等詳細は全国保育サービス協会HP又は当センターへお問い合わせください。

～ ベビーシッター利用時、割引券1枚につき2,200円が割引されます ～

【通常】

1日2枚/人、1ヶ月24枚/家庭
まで使用可
最大52,800円/月の補助



【特例措置】

1日5枚/人、1ヶ月120枚/家庭
まで使用可
最大264,000円/月の補助



ベビーシッター派遣事業割引券利用手続きについての詳細はこちらをご覧ください

割引券申込: http://www.marianna-u.ac.jp/career/support/hoiku1_04.html

利用手順、Q&A等:<http://www.marianna-u.ac.jp/career/pdf/sitter.pdf>

お問合せ先: 男女共同参画キャリア支援センター(内線5841・5814)

●男女共同参画キャリア支援センター●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp